

2021年4月23日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

東急コミュニティー技術研修センターNOTIA 空気調和・衛生工学会 学会賞「技術賞」を受賞

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀 克英）の、東京都目黒区上目黒所在の自社研修施設「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA（以下、NOTIA）」が、公益社団法人 空気調和・衛生工学会が主催する学会賞において「技術賞」を受賞いたしましたので、お知らせいたします。「技術賞」は1963年以来、今年で59回目となる歴史のある賞で、建築工学・設備工学界において権威・伝統ある賞になります。

東急コミュニティー技術研修センターNOTIA とは

NOTIAは、2019年5月に開業した自社研修施設です。「建物そのものが研修素材」をコンセプトとして、施設内には管理の現場と同じ環境で、見て、触って、学ぶための、社員・建物利用者へ建物への「気づき」を促す仕掛けを施しています。

また、当施設は建物管理会社としての、顧客提案に向けた実証実験の場でもあります。社会の環境への関心の高まりに対応していくべく、NOTIAには最先端の省エネルギー技術を導入しています。

① 建築上の省エネルギー機能

- ・LOW-E 複層ガラスと外断熱による外部熱負荷の削減
- ・縦ルーバーや庇を用いたファサード
- ・開口形状（窓の多用等）による自然換気の促進

② 設備上の省エネルギー技術(空調)

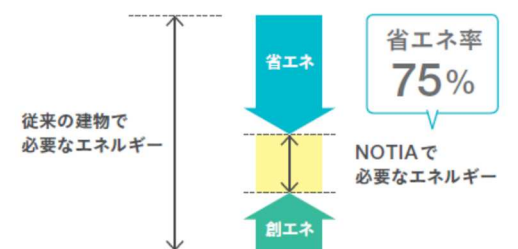
- ・年間を通じて温度の安定している地中熱を利用したシステム
- ・躯体（スラブ）に蓄熱する躯体利用放射空調システム
- ・室内利用情報や天候、運転実績から最適な躯体蓄熱時間を判断する躯体蓄熱ナビゲーション

③ 設備上の省エネルギー技術(電気・照明)

- ・太陽光発電設備による再生可能エネルギーの生成（創エネルギー技術）
- ・全館LED照明による照明エネルギー削減および昼光連動制御による消費エネルギーの削減
- ・BEMS運用によるエネルギー使用状況の見える化（デジタルサイネージの活用）、省エネ実績の蓄積・検証による省エネルギーの更なる効率化

上記技術によりエネルギー消費量を低減する一方で、太陽光発電設備によりエネルギー自給を行うことで建物トータルのエネルギー消費量の削減を図り、竣工前の2018年2月には東京都内の事務所ビルとしては初めてとなる一次エネルギー削減量75%以上が規定される「NealyZEB」認証を取得し、竣工後の2019年には、年間一次エネルギー削減率「83.2%」を達成しています。





最先端の省エネ／創エネ技術

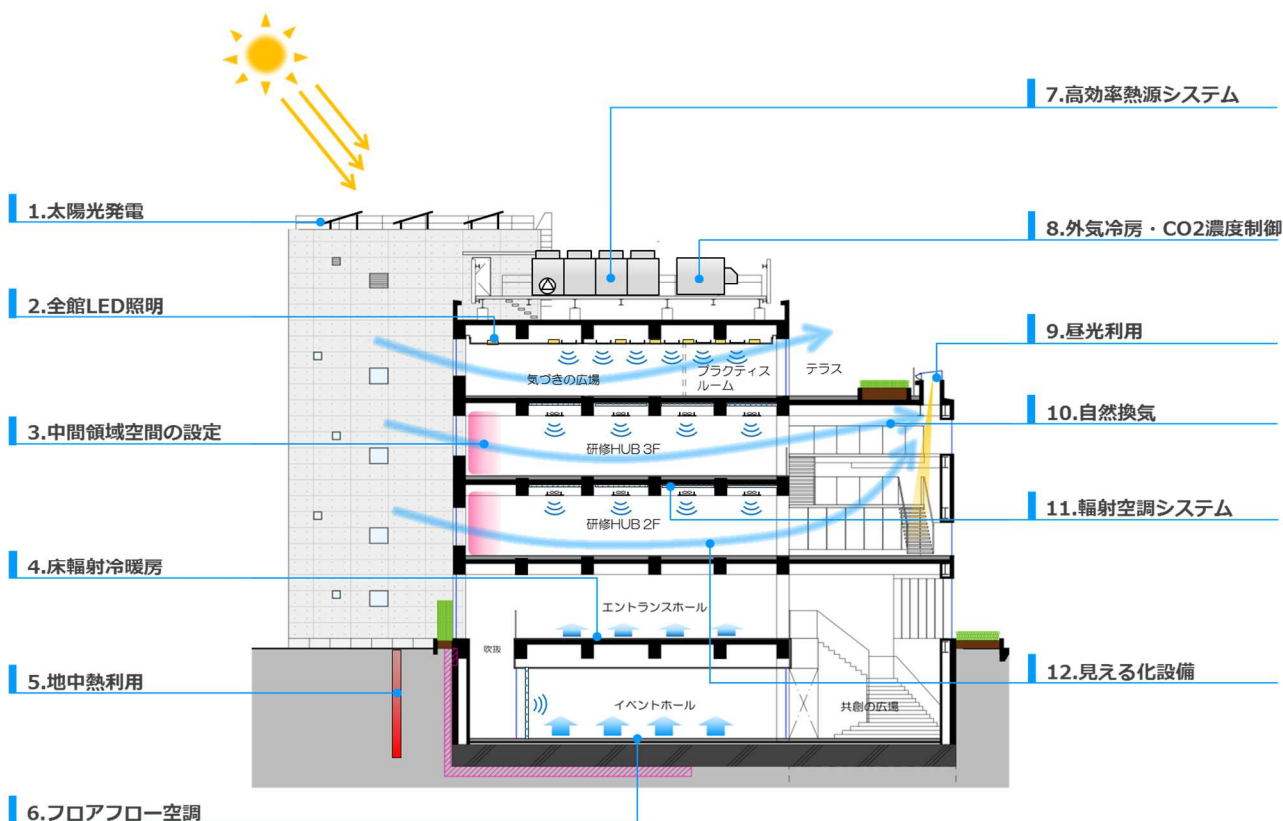


Nearly ZEB：省エネルギー率75%（正味）を達成したビルのこと。“究極の省エネビル”といわれる省エネ率100%の「Net Zero Energy Building (ZEB)」に限りなく近いとされており、公的な認証制度が設けられています。

空気調和・衛生工学会賞「技術賞」と評価ポイントについて

空気調和・衛生工学会の学会賞「技術賞」は、日本の建築設備または環境設備関連施設の計画・設計・施工において、毎年、最も優れた業績・技術に与えられる賞です。

今回の受賞は、躯体利用放射空調システムの開発、実証実験における快適性評価、自然エネルギー・再生可能エネルギーの積極的利用だけでなく、BEMS を用いたきめ細かいエネルギー消費動向分析、その分析を基にした設備ファインチューニング等、当社の管理手法も評価されています。



NOTIA を省エネルギー実証実験の場とし、さらなる建物価値向上の提案を展開

当社は総合不動産管理会社として、豊富な経験と実績をもとに、お客様の建物の資産価値向上に向けた提案を積極的に行ってまいりました。今後も全社的な省エネルギー推進、並びに NOTIA での省エネルギー施設運営を通じて、既存ビルのみならず先進的な建物への理解を深め、お客様の建物の資産価値向上に努めてまいります。

■東急コミュニティー技術研修センターNOTIA

所在地：東京都目黒区上目黒三丁目9番1号

建築面積：610 m²

構造・規模：RC造S造併用構造 地下1階 地上5階

延床面積：2,440 m² (738 坪)

敷地面積：842 m² (254 坪)

設計・施工：清水建設株式会社

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。